

●刈払作業者への合図は注意しながら

なぜ？

刈払機は騒音が大きく、遠くから声をかけても作業者は気が付きません。しかし、後ろから近づいて肩を叩いて知らせると、作業者が振り向いて脚を切られる恐れがあります。

ヒヤリ、事故

1. 草刈り中、後方から接近する者に気づき不用意に振り向いて、刃を接触させそうになった。
2. 共同で草刈り中、他者の刈払機に接触し、負傷した。

そこで…

対策ポイント

あらかじめ安全な合図を決め、エンジンを止めてから話をしましょう。

1. 作業者の前方からは、鏡や笛で遠くから合図します。目安として15m以上の距離が安全といわれています。
2. 後方からしか接近できないときは、長い棒のようなもので作業者に接近を知らせます。
3. 作業者は、エンジンを止めてから話をします。



さらに！

追加のヒント

1. 草刈り中に、石が飛び跳ねて、通行中の自動車や住宅の窓ガラスを破損するトラブルが多発しています。問題ない方向に向けて刈り払う等、作業方法を工夫します。
2. 複数で作業を行う際は、相互の位置状況を把握した上で安全を確保します。